

令和4年産 麦作情報 (Vol. 2)

令和4年2月15日
宮城県石巻農業改良普及センター
TEL:0225-95-7612 FAX:0225-95-2999
<http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/et-sgsin-n/>
技術情報はこちらからも！→



1 10～1月の気象経過と1ヶ月予報

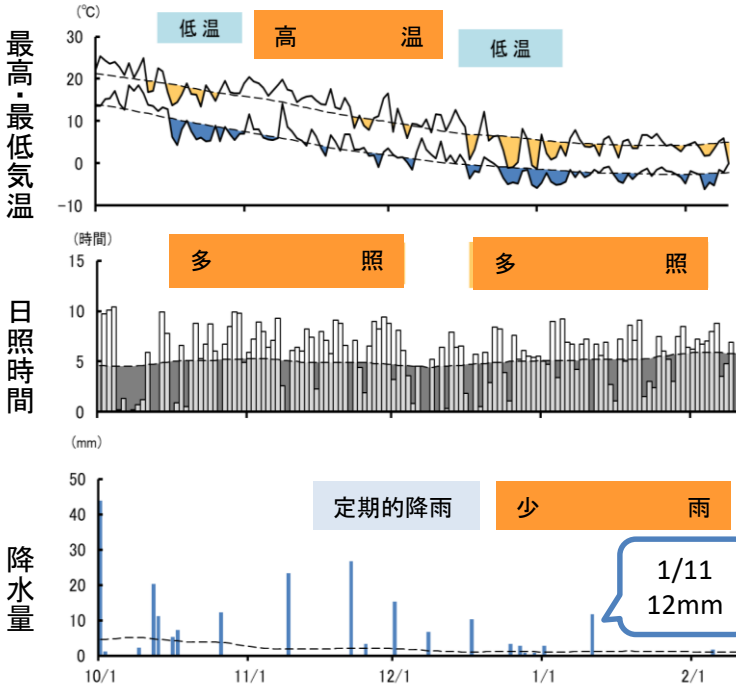


図1 気象経過(アメダス石巻) ※ 点線は平年値

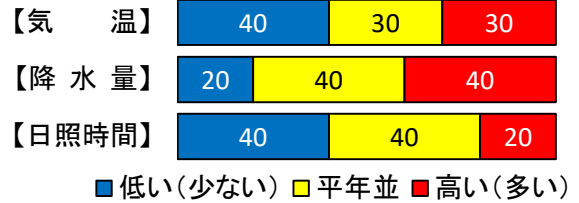


図2 1ヶ月予報(2/12～3/11)
数値は、各項目の各階級の確率を示す
(仙台管区気象台2/10発表)

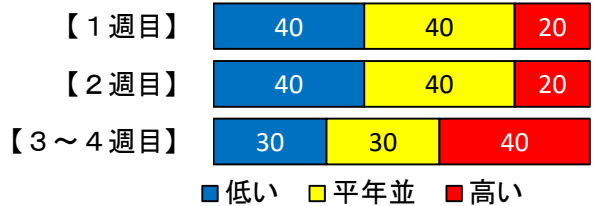


図3 1ヶ月予報(週毎)
数値は、各項目の各階級の確率を示す
(仙台管区気象台2/10発表)

2 生育調査ほの生育状況

(2月10日現在, 表1, 次頁写真1)

◆ 草丈と茎数は、すべてのほ場で平年を上回っており、幼穂長は、樫崎を除いて平年より長いです。

◆ 10月中旬までに播種した大麦ほ場では、幼穂形成期に入っています。

表1 生育調査ほ調査結果(2月7日, 10日調査)

品種	調査ほ (旧市町)	播種日(月日)			草丈(cm)			茎数(本/m ²)			幼穂長(mm)		
		本年	前年差	平年差	本年	前年差	平年差	本年	前年比	平年比	本年	前年差	平年差
シュンライ	神取 (桃生)	10/10	-6日	-14日	18.0	+6.5	+8.6	1030	167%	212%	2.5	+1.5	+1.7
ミノリムギ	高須賀 (桃生)	10/22	+2日	-3日	11.6	+1.0	+1.1	561	163%	145%	1.0	+0.2	+0.3
	真野 (石巻)	10/23	-6日	-6日	10.3	+0.8	+1.1	694	164%	161%	0.8	+0.2	+0.1
ホワイトファイバー	水沼 (石巻)	10/18	-2日		14.5	+5.4		837	101%		1.3	+0.4	
シラネコムギ	小船越 (河北)	10/10	-50日	-27日	22.3	+19.8	+14.1	1297	499%	429%	0.5	-	+0.5
	樫崎 (桃生)	10/31	+11日	+3日	16.4	+4.3	+5.7	637	94%	111%	0.1	-0.2	-0.1

※ 平年差・比は過去5か年の平均値との比較。播種日の+は遅い, -は早いことを示す。

※ 水沼ホワイトファイバー調査ほは調査4年目のため、平年差・比は過去3か年の平均値との比較。

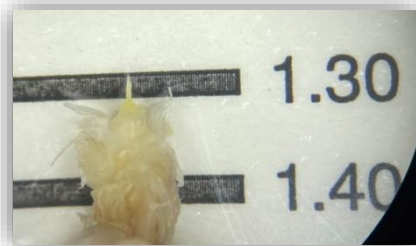
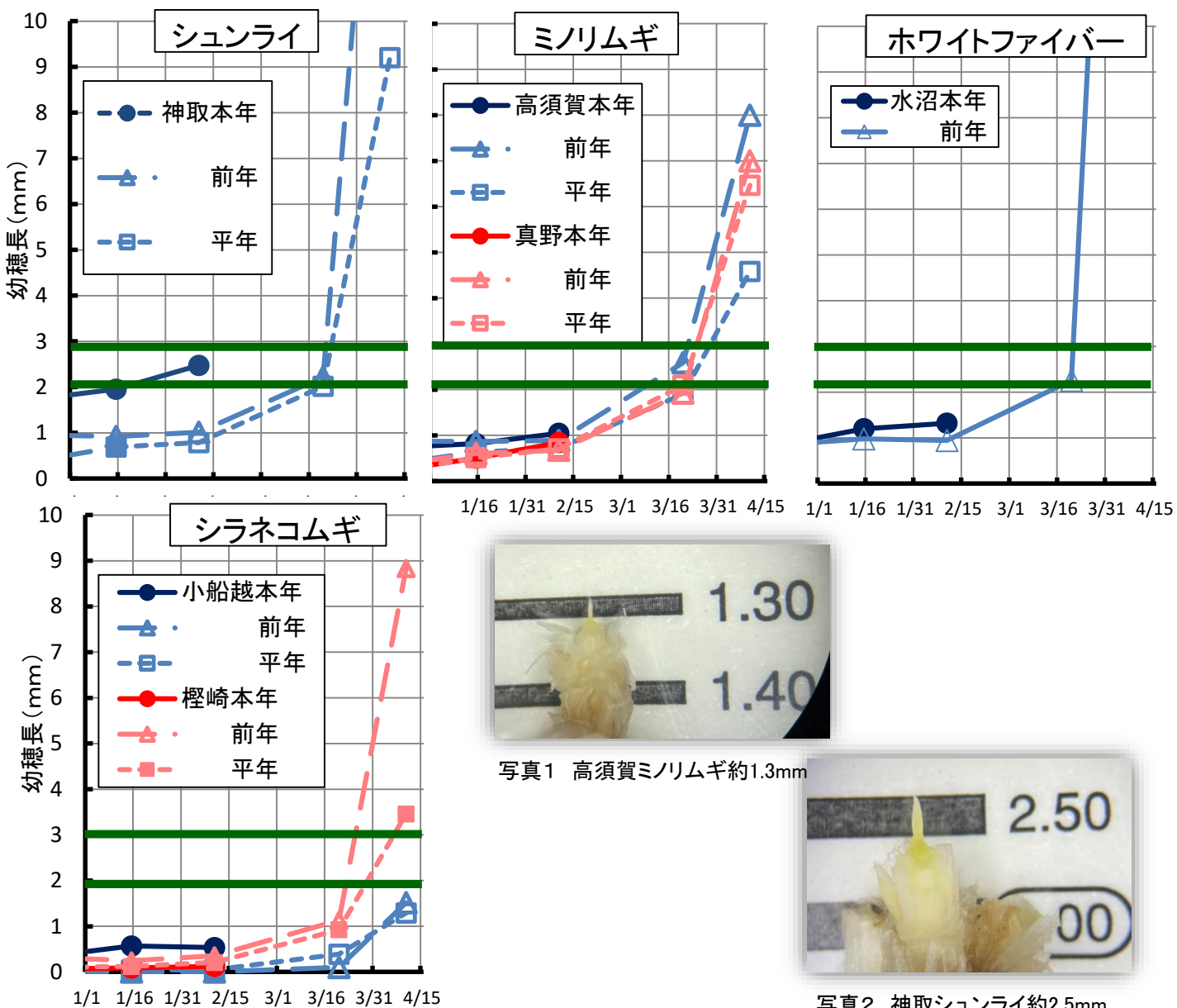


図4 生育調査ほにおける幼穂長の推推※緑線内: 幼穂形成期 (幼穂2~3mm)



写真3 生育調査ほの生育状況

3 今後の管理

～排水対策, 麦踏み, 追肥のポイント～

- (1)「排水対策」～融雪や降雨によるほ場の停滞水を速やかに排出することが重要です～暗きよが閉じているほ場がないか, 再点検しましょう。また, 明きよの手直しを行いましょう。
- (2)「麦踏み」～ほ場が乾いている時に, 茎立ち前までに行いましょう!～

- ◆麦踏みは, 融雪後, **茎立ち前までに行いましょう。**
- ◆**土壤が湿った状態で麦踏みを行うと, 土壤が固く締まって根の伸長阻害や排水性悪化の原因となります。作業は, 必ずほ場が乾いた状態で行うようにし, ほ場が乾かないうちに無理に行わないようにしましょう。**
- ◆**湿害によって葉の黄化や生育量不足が著しい場合や, 鳥類による食害が見られる場合には, 効果が十分に得られないので, 麦踏みを行う必要はありません。**



- (3)「追肥」～幼穂長を確認し, 適期追肥に努めましょう!～

① 株直し追肥 … 葉色の回復, 茎数の増加

- ◆**融雪後の生育量が小さい場合(㎡当たりの茎数が400本以下, 写真4参照)や, 葉の黄化が著しい場合などに, N(窒素)成分で1~2kg/10a程度施用します(表2)。茎数が多く, 葉色の低下も見られないほ場では不要です。**
- ◆**鳥類による食害の著しいほ場では, 融雪後ほ場に入れるようになったら新葉の生育促進のため株直し追肥を行いましょう。施用量はN(窒素)成分で1kg/10aが目安です。**



写真4 茎数の目安 (シュンライ, 条間30cmの例)

50cm

② 幼穂形成期追肥 … 穂数の増加

- ◆**麦類は幼穂長が2mmを超える頃から茎立ちし, 幼穂や節間の伸長が急激に進むため, この頃の窒素栄養状態の悪化は有効茎歩合の低下を招きます。その一方で, 過剰施用は節間伸長を助長し倒伏の原因となるので, 適期・適量施用に努めましょう!**
- ◆**追肥一発型肥料は, 大麦においては, 株直し追肥, または幼穂形成期追肥のうち1回目の追肥時期に施用し, それ以降の追肥を省略できると考えられます。表に示した時期は平年の場合の大よその目安であり, 実際には現地ほ場の幼穂長を見てから追肥時期を判断しましょう。**



表2 追肥の施用時期と施用量の目安

追肥の種類 (生育ステージ)		株直し追肥 (融雪後)	幼穂形成期 (幼穂長2~3mm)	減数分裂期 (幼穂長30mm)	穂揃期 (8~9割が出穂)
目的		茎数の増加 葉色の回復	有効茎歩合増加 (穂数の確保)	一穂粒数の増加 登熟良化	小麦の子実タンパク質 含有率の向上
大 麦	時期 シュンライ, ホワイトファイバー ミニムギ	2月	2月下旬~3月中旬 3月上旬~4月上旬	4月中旬 4月下旬~5月上旬	硬質麦防止のため 実施しない
	10a当たり 施用量	窒素成分1~2kg (硫安5~10kg)	窒素成分2~2.5kg (硫安10~12kg)	窒素成分2~2.5kg (硫安10~12kg)	
小 麦	時期	2月	3月下旬~4月中旬	4月下旬~5月上旬	5月中旬
	10a当たり 施用量	窒素成分1~2kg (硫安5~10kg)	窒素成分2~2.5kg (硫安10~12kg)	窒素成分4~5kg (硫安20~25kg)	窒素成分2~2.5kg (硫安10~12kg) ※ 夏黄金は2倍

参考「ハーモニー75DF水和剤」は節間伸長前の散布が効果的です(一年生広葉雑草対策)。

慣行の使用方法では、土壌処理剤が散布できず、ヌメ/テフホウや一年生広葉雑草が発生した際に、越冬前に本剤を使用する(①)。気象条件等によって雑草発生が早まった場合に、越冬直後に本剤を使用する(②)という方法がみられます。このように使用した場合、大麦の茎立ちと合わせて一年生広葉雑草が多発すると、登録がある除草剤に限られる上に、雑草の生長時期は水稲作業が多忙になり、適期防除ができないう可能性がにあります。大麦の茎立ち期頃から発生する一年生広葉雑草発生量が多いほ場においては、**土壌処理剤効果も期待できる茎葉処理剤「ハーモニー75DF水和剤」を節間伸長前に10g/10a(希釈水量100L)散布する(③)**ことで、その後の雑草発生密度を低下させることが期待されます(下写真のように赤く枯れてきます)。

※普及センターで実施した、土壌処理剤のみ区と、土壌処理剤+本剤区での雑草調査では、

土壌処理剤のみ区と比べて雑草本数が22%、乾物量は8%でした。

(散布日:R2/3/16、調査:散布後30日)

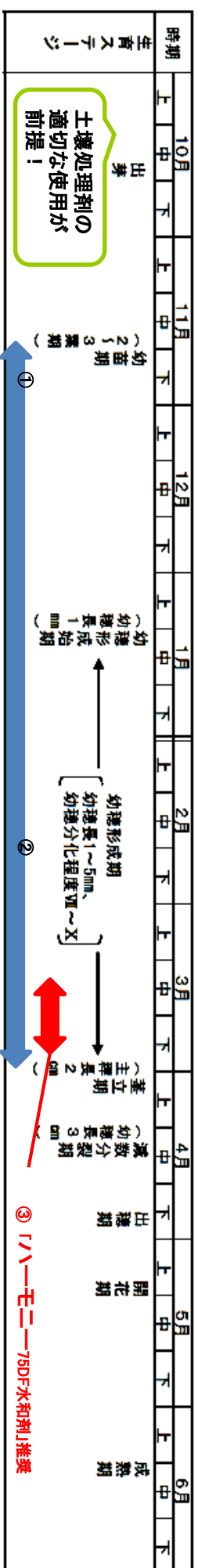


図5 大麦生育ステージと除草剤散布時期(青:慣行, 赤:推奨)

表3 ハーモニー75DF水和剤

作物名	適用病害虫/雑草	希釈倍数・使用量	使用方法	使用時期	本剤の使用回数	適用場所	散布液量	作業回数/日	適用更新日
大麦	ヌメ/テフホウ	5~10g/10a	雑草茎葉散布又は全面散布	麦3葉期~節間伸長前	1回	-	50~100リットル/10a	1回	2020年11月11日
大麦	ヌメ/テフホウ	5~10g/10a	雑草茎葉散布又は全面散布	は種後~麦2葉期	1回	-	100リットル/10a	1回	2020年11月11日
大麦	一年生広葉雑草	5~10g/10a	雑草茎葉散布又は全面散布	は種後~麦2葉期	1回	-	100リットル/10a	1回	2020年11月11日
大麦	一年生広葉雑草	5~10g/10a	雑草茎葉散布又は全面散布	麦3葉期~節間伸長前	1回	-	50~100リットル/10a	1回	2020年11月11日

令和4年2月9日の農薬登録内容を基準に作成しています。農薬散布を行う場合は事前に最新情報で農薬登録を確認し、大麦の生育状況も確認の上、使用してください。また、農薬使用の際には飛散防止対策を講じてください。使用回数は薬剤の使用回数を示しています。農薬使用の際には薬剤の使用回数と含有する成分ごとの使用回数に注意してください。農薬使用に先立ち、ラベルの表示事項を必ず読み、安全使用上の対策等について確認してください。